

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
昭和55年5月20日発行(毎月1回20日発行)
物 性 研 究 第34卷 第2号

vol. 34 no. 2

物性研究

1980/5

ニュース

[東京大学・理学部・物理]

- 人のうごき
- 飛田和男(北大工学部へ就職 4/1)
- 有光敏彦(筑波大学へ就職 4/1)
- 松葉育雄(日立に就職)

- 物性研究連絡員(4月より)
 - 理・物理 鈴木(増)研 近間輝美

○修士論文

- Study of a One-Dimensional Nonlinear System/Hidemi Ishiuchi
- Quantum Diffusion in Organic Solids/Y. Inaba
- Study of the Formation of Processes of Macroscopic Order/Fumiyoshi Sasagawa
- 磁性超伝導体の相転移/ 岡田拓史

○博士論文

- Photomagneto-electric effect/Kazuo Nakazato,
- Side-Wall Effect on Successive Instabilities in a Bénard System/Ikuo Matsuba.
- Statistical Mechanical Study of Parametric Process, Laser and Bose Condensation/
Toshihiko Arimatsu
- Pseudo-Critical Phenomena in First Order Phase Transitions/Hiroshi Ikeda
- Inhomogeneous States in Non-equilibrium Ordered Phase-Superconductors and
Liquid Crystals/Kazuo Hida

[東京大学・物性研究所]

○研究会(テーマ)

1月31日～2月1日

イオン・ビームと固体表面

ニュース

○談話会

- 2月 4日 “Recent Progress in Quantum Electronics Research at Stanford Univ.”
Prof. R. L. Byer (Stanford Univ.)
- 2月 18日 “Solitons as Particles” Prof. A. R. Bishop (Los Alamos Lab.)
- 2月 25日 “Prospects of X-ray Holography” V. V. Aristov (S. S. P. I.)
- 3月 6日 “超伝導マグネット応用の最近の話題” 安河内 昂(日大理工)
- 3月 24日 “チトクロムC₃の電子伝導” 井口洋夫(分子科研)

○土曜セミナー

- 1月 19日 “部分系間相互作用の減衰演算子への影響” 有光敏彦(東大理)
- 1月 26日 “強磁性金属に対するスピンのゆらぎの理論” 宇佐美 寛(物性研)
- 2月 9日 “Solitons and one-dimensional magnets” Prof. A. R. Bishop (Univ.
of California)
- 2月 16日 “Anderson 転移における磁場効果 —Hall 係数等—”
小野義之(東大理)
- 2月 23日 “2次元電子系のアンダーソン局在とホール効果” 福山秀敏(物性研)
- 3月 8日 “ソリトンと1次元系のダイナミックス” 今田正俊(東大理)

プレプリント案内

[東京大学・理学部・物理・久保研究室]

- (228) 1. Michiyoshi Oku
 Quenched Random System in the Spherical Limit of the n-Vector Model —Spin Glass Order for Zero External Magnetic Field and No Spin Glass Order for Non-zero External Magnetic Field—
- (229) 1. Arisato Kawabata
 Theory of Negative Magnetoresistance I.
 Application to Heavily Doped Semiconductors.
- (230) 3. Shigeru Machida and Mikio Namiki
 Theory of Measurement in Quantum Mechanics
 —Mechanism of Reduction of Wave Packet—
- (231) 3. Y. Saito and H. Müller-Krumbhaar
 The Two-dimensional Coulomb Gas: A Monte Carlo Study
- (232) 5. M. D. Arthur, Henry Brysk, S. L. Paveri-Fontana and P. F. Zweifel
 The Law of Radioactive Decay
- (233) 5. Theo F. Nonnenmacher and P. F. Zweifel
 A Boltzmann Equation for Phonons and Electrons
- (234) 11. Leo P. Kadanoff
 Singularities near the Bifurcation Point of the Ashkin-Teller Model
- (235) 11. Ruth V. Ditzian, Jayanth R. Banavar, G. S. Grest and Leo P. Kadanoff
 Phase Diagram for the Ashkin-Teller Model in Three Dimensions
- (236) 11. Perry B. Wilson
 Ring Impedance and Stored Current for the Photon Factory
- (237) 11. H. E. Stanley and J. Teixeira
 A. Qualitative Interpretation of Experimental Data on Supercooled H₂O and D₂O : Tests of a Percolation Model
- (238) 11. S. Redner
 Distribution Functions in the Interior of Polymer Chains
- (239) 11. Robin L. Blumberg, Gerald Shlifer, and H. Eugene Stanley
 Monte Carlo Tests of Universality in a Correlated-site Percolation Problem

プレプリント案内

- (240) 11. David Pines
Accreting Neutron Stars, Black Holes, and Degenerate Dwarf Stars
- (241) 11. David Pines
Pulsars and Compact X-Ray Sourced: Cosmic Laboratories for the Study of Neutron Stars and Hadron Matter
- (242) 11. Doyne Farmer, James Crutchfield, Harold Froehling Norman Packard, and Robert Shaw
Power Spectra and Mixing Properties of Strange Attractors
- (243) 11. J. P. Crutchfield and B. A. Huberman
Fluctuations and the Onset of Chaos
- (244) 12. T. F. Meister and B. U. Felderhof
Cluster Expansion for Fluids with Long-range Interactions
- (245) 21. Toshio Tsuzuki and Kazuo Sasaki
A Theory of the Onset and the Pinning of Charge Density Wave in a Quasi One-Dimensional Conductor.
- (246) 21. Masaki Goda
Localization of Eigenstates in One-Dimensional Disordered Systems
- (247) 22. Takayuki Matsuki and Noboru Yamamoto
Relation between Weinberg's and Georgi-Politzer's Renormalization Group Equations
- (248) 22. Susumu Kamada
Tristan Lattice Model II
- (249) 22. Motohiko Saitoh
Theory of a Polaron at Finite Temperatures
- (250) 22. Yoshifumi Harada, Yasuo Suzuki and Yoshio Ishida
Breakdown of the Validity of the Mode-coupling Theory for Sound Propagation in a Critical Binary Mixture
- (251) 25. F. Tanaka and S. F. Edwards
Analytic Theory of the Ground States Properties of a Spin Glass
- (252) 25. F. Tanaka and S. F. Edwards
Analytic Theory of the Ground State Properties of a Spin Glass II —XY Spin Glass—
- (253) 27. L. G. Marland and D. D. Betts

- Ground State Properties of the $S=1/2$ XY Ferromagnet on the Triangular Lattice
- (254) 31. Hideo Yahata
Temporal Development of the Taylor Vortices in a Rotating Fluids. III
- (255) 31. B. U. Felderhof and R. B. Jones
Contracted Description of Fluctuating Systems
- (256) 31. Naoki Iwamoto
Quark Beta Decay and the Cooling of Quark Stars
- (257) 31. John L. Cardy, M. Nauenberg and D. J. Scalapino
Scaling Theory of the Potts Model Multicritical Point

掲 示 板

「素粒子論研究・朝永振一郎先生追悼特集号」発行のお知らせ

このほど朝永先生追悼の特集号を発行しました。定期購読者にはお送りしましたが、余分がありますので、ご希望の方はお早めに下記にお申し込み下さい。156 ページで送料とも 1,000 円です。朝永先生が素粒子論研究にお書きになった論文と、1949 年から 1950 年にかけて、米国プリンストン高等研究所に滞在されていた時に日本の研究者に書かれ、当時素粒子論研究に掲載されたお手紙 26 通を再録し、関係者の解説や思い出をつけたもので、大変興味深い内容を含んでいます。

素粒子論研究編集部

606 京都市左京区北白川

京都大学湯川記念館内

電話 075-722-3540

万博協会基金部事務所移転について

財団法人 湯川記念財団

東京銀座にありました日本万国博覧会記念協会基金部事務所は、下記のとおり移転しますのでお知らせいたします。

記

1. 移 転 先

(〒565) 大阪府吹田市大字山田小川 23 番地の 17

TEL 06-877-3331 (大代表)

2. 旧 所 在 地

東京都中央区銀座 5 丁目 2 番 1 号

3. 移 転 日

昭和 55 年 7 月 12 日

編 集 後 記

京都市内の桜も散り、来週あたり遅咲きの御室の里桜が満開になり京都の桜が終わります。例により、四、五月号あたりが年間で一番物性研究の出版がおくれるので、時候のあいさつなど出版時にはひどくずれることになりそうで心配です。

春には人の移動が多く、物性研究関係では秘書の仕事をしてきていた谷原さんが高校の先生になって移られました。文字指定をしていた平良君が特別奨励生として物性研の超低温グループに入って研究することになり京都を離れました。長らく物性研究の出版に助力下さった両氏に感謝致します。御二人のあとは、二年前まで秘書の仕事をしてきていた武田さんが英国から帰られましたので谷原さんのあとを引きつぎ、楠本君が文字指定と校正の両方を行なうことになっています。

四月から物性研究の大きさが少し大きくなりました。本が大きくなった分だけ、薄くなりませぬよう、みなさま方からの投稿お願い致します。今月号は、投稿論文、講義ノート、基研シンポジウム報告等盛りだくさんで久しぶりに厚い物性研究になりました。編集部でも特別企画ということで、現在小川泰氏に加わっていただき「形と次元の問題」シリーズを近く掲載する予定です。

(T. M. 記)

物 性 研 究

第 34 卷 第 2 号
1980年5月20日発行

発行人	長 岡 洋 介 京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所 京都市上京区上長者町室町西入 TEL (441) 1659 (431) 4789
発行所	物 性 研 究 刊 行 会 京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

編 集 後 記

京都市内の桜も散り、来週あたり遅咲きの御室の里桜が満開になり京都の桜が終わります。例により、四、五月号あたりが年間で一番物性研究の出版がおくれるので、時候のあいさつなど出版時にはひどくずれることになりそうで心配です。

春には人の移動が多く、物性研究関係では秘書の仕事をしてきていた谷原さんが高校の先生になって移られました。文字指定をしていた平良君が特別奨励生として物性研の超低温グループに入って研究することになり京都を離れました。長らく物性研究の出版に助力下さった両氏に感謝致します。御二人のあとは、二年前まで秘書の仕事をしてきていた武田さんが英国から帰られましたので谷原さんのあとを引きつぎ、楠本君が文字指定と校正の両方を行なうことになっています。

四月から物性研究の大きさが少し大きくなりました。本が大きくなった分だけ、薄くなりませぬよう、みなさま方からの投稿お願い致します。今月号は、投稿論文、講義ノート、基研シンポジウム報告等盛りだくさんで久しぶりに厚い物性研究になりました。編集部でも特別企画ということで、現在小川泰氏に加わっていただき「形と次元の問題」シリーズを近く掲載する予定です。

(T. M. 記)

物 性 研 究

第 34 卷 第 2 号
1980年5月20日発行

発行人	長 岡 洋 介 京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所 京都市上京区上長者町室町西入 TEL (441) 1659 (431) 4789
発行所	物 性 研 究 刊 行 会 京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

講読規定

個人講読

1. 会費：当会の会費は前納制をとっています。したがって、3月末までになるべく1年間分会費を御支払い下さい。
なお新規講読お申込みの場合は下記の会費以外に入会金として、100円お支払い下さい。

1年間の会費

1st volume	2,340円
2nd volume	2,340円
	計 4,680円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。
(振替貯金口座 京都5312)
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。
雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず購読者本人の名前を明記して下さい。
3. 誌代の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vols.以上の誌代を滞納された場合には、送本を停止することになっていきますので御留意下さい。
4. 一括送本を受ける場合：個人購読中に大学等で一括配布を受ける様になった場合は、必ず「個人購読中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
5. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

学校、研究所等機関購読

1. 会費：学校・研究所等での購読及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1冊 730円、1 Vol. 4,380円、年間 8,760円です。この場合、入会金は不用です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。しかし購読申込みをされる時に支払いに必要な請求、見積、納品書各何通必要なのかをお知らせ下さい。
なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校、貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合の連絡：発行途上にある volume の購読途中中止は認められません。購読中止される場合には、1ヶ月前ぐらいに中止時期を明記して「購読中止届」を送付して下さい。

雑誌未着の場合、発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物 性 研 究 34—2 (5月号) 目 次

○Bloch Wall の安定性.....	間々田博司.....	97
○惑星大気における輻射エントロピーの流れとエントロピー生成	青木 一郎.....	111
○近藤効果の3次のくりこみと帯磁率.....	杉山 忠男.....	123
○基研シンポジウム「基礎物理学研究所の将来と物理学」.....		139
○修士論文アブストラクト (1979年度)		203
岡山理科大学応用物理学科.....		203
関西学院大学理学研究科.....		204
九州大学理学部物理学科.....		209
北海道大学理学部物理学教室.....		215
○ニュース.....		233
○プレプリント案内.....		235
○掲示板.....		238
○編集後記.....		240

物 性 研 究 34—2 (5月号) 目 次

○Bloch Wall の安定性.....	間々田博司.....	97
○惑星大気における輻射エントロピーの流れとエントロピー生成	青木 一郎.....	111
○近藤効果の3次のくりこみと帯磁率.....	杉山 忠男.....	123
○基研シンポジウム「基礎物理学研究所の将来と物理学」.....		139
○修士論文アブストラクト (1979年度)		203
岡山理科大学応用物理学科.....		203
関西学院大学理学研究科.....		204
九州大学理学部物理学科.....		209
北海道大学理学部物理学教室.....		215
○ニュース.....		233
○プレプリント案内.....		235
○掲示板.....		238
○編集後記.....		240